

## 下田市の水産・海洋学講座

平成 28 年 2 月 24 日（水）に下田市民文化会館で下田市教育委員会が主催する水産・海洋学講座（第 2 回）が開催され、当场職員が「静岡県の栽培漁業」というテーマで講演を行いました。

静岡県は、磯や岩礁の発達した伊豆半島、日本一深く外洋にも開かれた駿河湾、広大な大陸棚を形成する遠州灘、海水と淡水が混じり合う浜名湖と変化にとんだ海域を有しており、多種多様な沿岸漁業が営まれています。栽培漁業は、沿岸漁業の重要な振興策として事業が推進されてきました。現在は、魚類 3 種（マダイ、ヒラメ、トラフグ）、貝類 2 種（クロアワビ、メガイアワビ）、甲殻類 3 種（クルマエビ、ガザミ、ノコギリガザミ）の種苗生産が行われ、年間 500 万尾程の種苗放流が行われて、各魚種の生産量の増大に貢献しています。

当日は下田市周辺に在住の方約 15 名が聴講し、種苗生産に使用する海水や餌の与え方などについて質問がありました。



（野田浩之）